

従来、売上・利益・規模などの有形財産を最優先で追求してきた企業は、近年、法令遵守・社

年々歳々

8/8(金)・9(土)

ラント確立に向けての努力がなされることを期待したい。
(E・N)

悼

産・学・官 連携と知財のひろば

Innovation Navigator

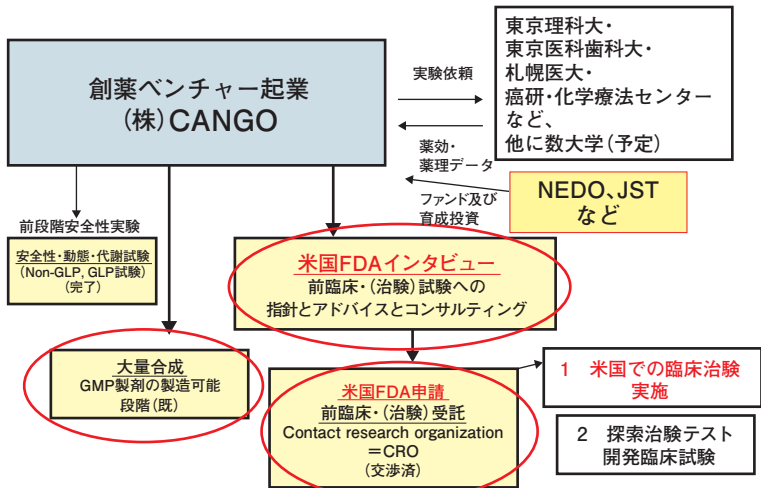
16

①

本年四月、新たに三社の本学発ベンチャー企業が足りました。今回からシリーズで新規ベンチャー企業を紹介いたします。一回目は理工学部応用生物科学科 坂口謙吾教授の創業の学内発ベンチャー企業「株式会社CANGO」です。

(株)CANCOは、末期癌にまだ全く存在せず、新しい治療SQAAGの実用化を目的としています。(SQAAGの機能は『理大科学フラム』誌二〇〇七年六期癌患者の完全治癒が期待されています)

このSQAAGは、本学の研究テーマの一環として十五年以上の歳月をかけて開発してきた独自の物質です。既に基礎研究は完了しつつあり、実用化段階である前臨床試験、そして最終的に人への臨床試験を行う段階に入ります。既に全国の数大学の医学部病院、癌研などとの開発ネットワーク



今後の展望として、米国のFDA（食品医薬局）への申請のための前臨床試験を三年以内に完了、そして米国で臨床試験に入る予定で、す（開発計画図）。臨床試験は二年程度で完了、最短で五、六年後には一般病院で使用されることを目標としていきます。開発計画は別表参照。

＊(株)CANGO

▽所在地：東京都新宿区四ツ谷3丁目12番地▽代表取締役社長：石井文雄▽取締役：坂口謙吾（理工学部応用生物科学科教授）

新体制

	専攻	募集 人数	願書受付	選考日	合格発表	入学手続
理学 研究科	数学	3	平成21年 1月16日(金) ～ 2月13日(金)	平成21年 3月3日(火)	平成21年 3月12日(木)	平成21年 3月13日(金) ～ 19日(木)
	数理情報科学	3				
	物理学	5		平成21年 3月2日(月)		
	応用物理学	3				
総合 化学 研究科	総合化学	10				
薬学 研究科	薬学	6				
工学 研究科	建築学	3	平成21年 1月19日(月) ～ 2月13日(金)	平成21年 2月28日(土)		
	電気工学	3				
	経営工学	3				
	機械工学	3				
理工学 研究科	数学	3	平成21年 1月16日(金) ～ 2月13日(金)	平成21年 3月2日(月)		
	物理学	3				
	情報科学	4				
	応用生物科学	4				
	建築学	3				
	工業化学	3				
	電気工学	3				
	経営工学	3				
	機械工学	3				
基礎工 学研究科	土木工学	3				
	電子応用工学	6				
	材料工学	6				
生命 科学 研究科	生物工学	6				
	生命科学	5				

平成二十一年度東京理科大学大学院入学試験日程が決定しました。当年度から新体制となります。Ⅱ1面参照。本学修士課程の入学試験方式としては、一般選抜、社会人特別選抜、他大学等からの推薦入学生、外国人留学生試験があります。また、博士後期課程の入学試験方式としては、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生試験があります。なお、専門職大学院は、一般選抜のみとなります。	詳しいについては、各担当事務課にお問い合わせください、資料をお取り寄せてください。
【問い合わせ先】 *理学研究科：理学事務課 ☎03・5228・8120 *総合化学研究科：理学事務課化学系事務センター1室 ☎03・5228・8246 *科学教育研究科：学務部学務課	

平成21年度 東京理科大学
大学院の入試日程決まる

〔1面を参照〕

	専攻	募集 人数	願書受付	選考日	合格発表	入学手続
総合科学技術経営研究所	技術経営 (1期)	10	11月10日(月) 11月25日(火)	12月7日(日)	12月11日(木)	12月12日(金) 12月19日(金)
	技術経営 (2期)	25	平成21年 1月7日(水) 1月26日(月)	平成21年2月8日(日)	平成21年 2月12日(木)	平成21年 2月13日(金) 2月20日(金)
	技術経営 (3期)	15	平成21年 2月9日(月) 2月23日(月)	平成21年3月8日(日)	平成21年 3月12日(木)	平成21年 3月13日(金) 3月19日(木)
	知の財産戦略 (1期)	30	7月14日(月) 7月28日(月)	8月31日(日)又は 8月30日(土)〈予備日〉	9月4日(木)	9月5日(金) 9月12日(金)
	知の財産戦略 (2期)	40	平成21年 1月19日(月) 2月2日(月)	平成21年2月15日(日)又は 2月14日(土)〈予備日〉	平成21年 2月19日(木)	平成21年 2月20日(金) 2月27日(金)
	知の財産戦略 (3期)	10	平成21年 2月16日(月) 3月2日(月)	平成21年3月15日(日)又は 3月14日(土)〈予備日〉	平成21年 3月17日(火)	平成21年 3月18日(水) 3月24日(火)

☎03:522888717	* 工学研究科：工学事務課
☎03:522888124	* 薬学研究所：薬学事務課
☎04:712279103	* 理工学研究科：理工学事務課
☎04:712279142	* 基礎工学研究科：基礎工学事務課
☎04:712279143	* 生命科学研究所：研究事業課

※8/10(日)～20(水)は全学休館

神 楽 坂	事 務 室	理学事務課	第一部 8:30~17:00 第二部 13:00~19:00
		MOT・MIP事務室	10:00~18:30
		学生課	8:30~19:00
		就職課	8:30~19:00
		学務課(教職課程支援室)	8:30~17:00 (8/4月)~8/8(金)は8:30~18:00
		経理課	8:30~17:00
		管財課	8:30~17:00
		保健管理センター	9:30~17:00
		入試センター(入試・広報・生涯学習)	8:30~17:00
	情報技術課	8:30~17:00	
九 段	事 務 室	工学事務課	第一部 8:30~17:00 第二部 13:00~19:00
		学生課	8:30~19:00
		就職課	8:30~19:00
		管財課	8:30~17:00
		保健管理センター	9:30~17:00
		情報技術課	8:30~17:00
		事務室	8:30~17:00
野田	事務室	8:30~17:00	
長万部	事務室	8:30~17:00	
久喜	事務室	8:30~17:00	

※土曜・日曜・祝日を除く ※窓口業務は昼休み 12:00~13:00を除く

学部・大学院等

8/2(土)まで前期定期試験
8/3(日)～9/16(火)夏休み
9/17(水)～20(土)前期予備期間
9/22(月)後期授業開始

長万部地区

8/2(土)まで前期定期試験
8/3(日)～9/15(月)夏休み
9/16(火)後期授業開始

専門職大学院

8/5(火)まで前期集中講義
8/6(水)授業振替日(4/9分MIP専攻)
8/20(水)～29(金)前期予備期間
8/7(木)～9/20(土)夏休み
9/22(月)後期授業開始

*詳細はHPを確認して下さい

*詳細はHPを確認して下さい

で頭が一杯と
いう人が多い
と思います。
今年は気温の
変化が大きいせいか、風邪
を引いている学生さんが多
いようです。体調管理も情
報収集と並んで大切な試験
の準備です。

試験が終わると待望の夏
休みです。四月から慣れな
い環境ががんばってきた新
夏休み 迫る

後期に備え、いい日々を
開始後十月十一月は、実は
四月・五月をピークにいつ
たん徐々減少していた相
談室の来談者数が再び上昇
に転ずる時期なのです。

不登校になる学生さん
が、五月と並んで大学に通
えなくなる時期でもありま
す。

のような気分
になったら、
早目に相談室
に連絡してく
ださい。一人でガンバって
みても、なぜかなかなかこ
のような状態からは抜け出
せません。引っ張り出して
くれる「手」として「学生
よろず相談室」を利用して
ください。

(学生よろず相談室)

ココの健康

人生の皆さん、お疲れ様でした。帰省・サークル活動旅行、アルバイト……あなたはどうな計画を立てていますか。

せっかくの長い休暇を有意義に過ごしてほしいものです。

さて、今回の話題は、夏休みが終わり後期が始まる時のことです。気が早いと思いますか。しかし、後期入生だけに限りませぬ。後期の始まる前後にこ



今年も上川の清流を守る活動

～ゴミ90kg回収・環境マインド高める～

平成十五年度に始まった上川アダプトプログラムの目的は、八ヶ岳山麓から諏訪湖に注ぐ上川の清流を守ろうと、企業や各団体で分担し、ゴミ拾いなどをして川に親しみを持つことです。本学も毎年参加していますが、四月十三日(日)に「平成二十年度第一回上川アダプトプログラム」が実施され、一年生を含めた学生・教職員三十八人が参加しました。写真。

これは、本学が一昨年行った「環境宣言」を受け、四月の修学ガイダンス等で参加を呼びかけて実ったもの。当日は現地までの約一キロの道路脇のゴミを拾いながら行き、川岸では川上と川下に分かれ、約一時間かけて可燃ゴミ五十キログラム、不燃ゴミ四十キログラム、軽トラック一台分のゴミを回収しました。

こうしたボランティア活動を通じて環境マインドを高め、大学を挙げて、現在政府の地球温暖化対策推進本部で推進している地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」活動に積極的につなげていきます。



六月一日(日)、日本の宇宙実験棟船内実験室「きぼ」に、この実験室が国際宇宙ステーションにドッキング後、物体物理実験が実施されま

河村洋教授の提案が実現へ

宇宙ステーション「きぼ」で流体実験



坊っちゃん杯スポーツ大会 歓声！
平成二十年度坊っちゃん杯スポーツ大会クラブ部を通じて参加者間の交流を深めることを目的に実施して(主)本学キャンパスを会場に五種目を実施しました。学生教職員で作る四十四チーム百九十七人の学生、教職員はそれぞれの種目で熱戦を繰り広げました。

ムには東京理科大学創立百二十五周年を記念して作成した「坊っちゃん杯」が贈呈されます。当日は晴天、絶好のスポーツ日和となり、参加者は互いに声を掛け合ってチームワークを発揮。ファイナルには外野から歓声が上がるなど、スポーツの一日を満喫していました。

今回「きぼ」で実施される実験は全部で七テーマ。一九九三年にテーマ選定を受けて以来、河村教授(当時、東京理科大学理工学部機械工学科)とプロジェクトチームは「地上でできる、可能な限りの準備」を重ねてきました。今後、宇宙での準備期間を経て、八月から実際の実験をスタートすることになります。同チームには、東京理科大

とおり、日本国民や未来を担う子どもたちに、夢や希望を与える役目を担っています。河村教授は「有人宇宙技術に日本が参画しているということが重要。この実験を通して自分のような一般の研究者でも、努力を積み重ねれば宇宙実験ができることを子供達に伝えたい」と話しています。

諏訪東京理科大学2008 オープンキャンパス・スペシャル

7月27日(日)／8月2日(土) 11:00～16:00 (入退場自由)

- 在学生によるシンポジウム ●模擬講義・実験・体験講座
- 研究室公開 ●入試概要説明 ●就職概要説明 ●キャンパスツアー
- 推薦入試対策・模擬面接 ●なんでも相談 ●サークル活動紹介
- 学食体験(無料) ●大学周辺バスツアー

☆長野、松本、上田、飯田、甲府、茅野駅から無料送迎バス運行

オープンキャンパス

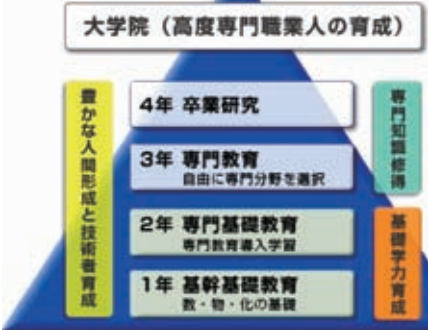
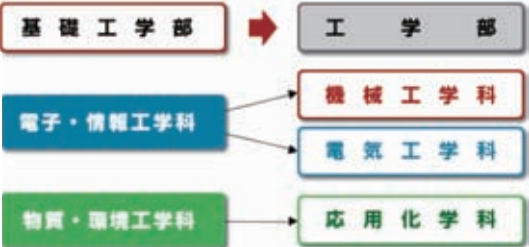
9月20日(土)／10月25日(土)・26日(日) 12:00～16:00 (入退場自由)

- 大学概要説明 ●研究室公開 ●キャンパスツアー
- なんでも相談 ●学食体験(無料)

☆長野、松本、上田、茅野駅から無料送迎バス運行

※詳細はHPでご確認ください

来年度からスタートする新「工学部」



山口東京理科大学は、産業界から求められている人材育成のために、教育改革を行い、平成二十一年度から新しく「工学部」を設置。学科構成をこれまでの二学科から「機械工学科」「電気工学科」「応用化学科」の三学科の大学に生まれ変わります。

県内の高等学校や企業を対象に調査を行ったところ、特に、機械工学・電気工学・応用化学の分野への期待が高く、実学志向で

大学教員1人あたり外部資金獲得額順位

1	東京大学	15,181,106
2	大阪大学	10,912,277
3	東京工業大学	9,603,278
4	京都大学	9,567,201
5	東北大学	8,811,012
6	豊橋技術科学大学	8,351,884
7	滋賀医科大学	7,483,912
8	東京医科歯科大学	7,201,389
9	九州大学	6,813,988
10	豊田工業大学	6,629,444
11	東京農工大学	6,337,878
12	慶應義塾大学	6,187,285
13	浜松医科大学	6,064,836
14	名古屋大学	6,033,156
15	長岡技術科学大学	5,691,932
16	山口東京理科大学	5,673,440
17	名古屋工業大学	5,534,014
18	京都府立医科大学	5,396,360
19	帯広畜産大学	5,283,479
20	長浜バイオ大学	4,885,152

単位:円/出典:「2009年版大学ランキング」(朝日新聞社) 本学は地域に貢献する大学として、産学官連携を積極的に推進し、高い評価を得ており、研究助成金、共同研究費、受託研究費等の外部資金は増加傾向にある。

来年度から実学志向に改編へ

あることが判明。学内委員会を立ち上げ、議論を重ねた結果、地域社会の要請に応える人材を養成、活性化を目的とする「社会貢献型大学」を目指し再編に着手しました。

具体的には、既設の基礎工学部を「工学部」に変え、電子・情報工学科を「機械工学科」と「電気工学科」に分け、物質・環境工学科を「応用化学科」に名称変更します。組織図参照。近く文部科学省へ届出予定で、来年四月から新学部の学生を迎えます。

二〇〇九年版大学ランキング(朝日新聞社)で、本学の教員一人あたりの外部資金獲得額が全国私立大学で第三位(西日本地区ではトップ)、国公立を含めた

有する人材を育成します。自然科学・コンピュータ技術を基礎として機械工学、材料工学、流体力学、熱力学、制御工学を専門とした教育・研究を行い、豊かな表現力、高度な技術力・技術者倫理を身に付け、機械制御システムを開発できる応用力・創造力を

のデザイン能力を有する人材を育成します。電気工学科 エレクトロニクス、エネルギー、情報通信に係る教育・研究と専門技術者・研究者の育成と電気工学、電子工学、情報科学を専門知識・システム化した思考と、技術者倫理を備えた科学技術者を育成します。

市民のためのパソコン入門教室開催
五月三十一日(土)、本に、日本語力の仕方、電学生涯学習センター主催で子メールの送信や受信、インターネットの楽しみ方等門教室(基本編)を開催しました。

第二回目は、六月七日(土)に開催し、電子メールやインターネットの使い方について学習しました。

本学、全私大で3位 最新版外部資金獲得額

山口東京理科大学 オープンキャンパス2008

[日時] 8月3日(日) 11:00～16:00

- ◇新学部・新学科説明会 ◇入試説明会
- ◇研究室&施設見学 ◇サイエンスフェア
- ◇個別相談会 ◇特別講演会
- ◇東京理科大学入試説明会 ◇模擬授業

※当日は、博多・小倉・下関・徳山・広島・新山口・小野田・宇部駅より無料送迎バス(要予約)を運行
※詳細はホームページでご確認ください
URL: http://www.yama.tus.ac.jp/

お問い合わせ先: 0836-88-3500

※ミニ・オープンキャンパス開催中!

[日時] 7/12(土) 11:00～16:00

7/26(土) 11:00～16:00

このたび地元新聞社(宇部日報社)から本学研究室について取材があり、その活動を紹介する連載記事「山口東京理科大学の挑戦」が六月からスタートしました。(毎週土曜日掲載)紙面では、各研究室の研究内容や活動の様子が分かりやすく書かれています。ホームページでも記事を紹介していますので、皆さんぜひご覧ください。

山口東京理科大学 News

〒756-0884

山口県山陽小野田市大学通り1-1-1
0836-88-3500(代表)
http://www.yama.tus.ac.jp/

サイエンスフェア本学主催に3000人「みらい研究室」に輝く目



二酸化炭素の風船で地球温暖化を考えるサイエンスライブショー

六月七日(土)、八日(日)にお台場の日本科学未来館で本学サイエンスフェア「みらい研究室」が行われました。この催しは百二十五周年記念行事の一環として開催されたのですが、昨年から学生行事として引き継がれ、今回で三回目の実施です。学生の企画参加者は計十九団体、約三百人。昨年は遙かに上回る方々にご来場いただき、その数は三千人を超えました。

今年は新たに生命系の企画も加わり、より多分野に亘る団体が出展しました。自分達の研究に楽しく触れてもらえる工夫をこらし、展示・実験講義等のプレゼンテーション、演奏などを行いました。当日は親子連れの来場



いろんな色の人エイクラやスライムを作ってみよう



神楽坂吹奏楽団による「音の展示会」

客も多く、参加した小学生らは「みらい研究室」で科学の面白さに目を輝かせながら様々な体験をしていました。本フェアでは、将来の科学技術を支える若者から、最先端の研究者、一般市民の皆様に、本学の歴史ある研究の全体像を広く伝えると共に、サイエンスの探究の面白さ、考え方の大切さ、社会への貢献にスポットを当てています。理科離れが叫ばれる昨今、科学技術の面白さを未来を担う子供達に恒常的に語りかけるという社会的意義と共に、本学学生のクラブ活動等の更なる活性化とこれに参加する学生達の人間的な成長が図られることが期待されます。



足とアームで相手を倒せ！ロボコン大会「ROBOT WARS」



さあ、決戦！スポーツフェスティバル開会式

学長杯・理事長杯争奪 研究室対抗 熱戦2日！スポーツフェスティバル

六月七日(土)、八日(日)に「東京理科大学創教育・研究の全てにおいて立・学長杯・理事長杯争奪 研究室対抗スポーツフェスティバル」が野田キャンパスで行われました。このフェスティバルは野田キャンパスにある三学部と各研究部が参加。女子または三十三歳以上の男子が常時一人以上チームに入ります。研究室内の相互交流と親睦を深めるために開催されています。

競技内容はソフトバレーボール。今年は三十四チームが参加。女子または三十三歳以上の男子が常時一人以上チームに入ります。研究室内の相互交流と親睦を深めるために開催されています。



和やかに歓迎パーティー

～今年度 外国人留学生を迎えて～

国際化推進センター主催の外国人留学生新入生歓迎パーティーが四月二十三日(水)、日本出版クラブ会館(新宿区)で行われました。留学生五十一人のほか、外国人研究者や本学教職員など計百二十人が集い、交流の場となりました。

本学は大学の国際化を目指し、留学生の受け入れを推進しています。今年度は、学部生三十一人、大学院生十六人の計四十七人の外国人留学生が入学し、本学に在学する留学生は学部生八十四人、大学院生三十三人の合計百十七人となりました。留学生総数は昨年度より二十人の増加となり、学内の国際化推進が期待されます。

今秋、広島で本学PRフェア

本学の二〇〇九年度B方式(一般)入学試験会場に、新たに広島会場が加わります。これを機に、創立百二十七年の伝統を持つ私立理工系総合大学をもっと身近に知ってもらうため、十月十一日(土)に広島国際会議場で「東京理科大学フェア」を開催します。

会場では、受験生や保護者の皆さん、高校の先生方など対象別の入試説明会や、科学を身近に感じてもらう体験ブース、八学部



環境問題や人工心臓システムについて科学技術の最先端に触れていただきます。皆さんのご越しをお待ちしています。

日時：10月11日(土) 10:30～16:30

会場：広島国際会議場大会議室「タリア」

講演会「地球環境問題を解決する化学」工藤昭彦・理学部第一応用化学科教授▽「人工心臓システムへの挑戦」越地耕二・理工学部電気電子情報工学科教授

入場無料。どなたでも入場可

入学試験要項無料配布

問い合わせ：東京理科大学入試課フェア事務局

TEL 03-5228-8092

FAX 03-5228-8093

各ブロックとも熱戦が繰り広げられ、野田ブロックは理工学部工業化学科の阿部正彦教授率いる「阿部・酒井研究室Bチーム」が優勝し、学長杯を手に入れました。運河ブロックは理工学部応用生物科学科の恒松康彦講師率いる「恒松(Soybeans)」が優勝、理事長杯を手に入れました。

標高四百四十mの登山口から、約二キロの行程を約四十分かけて登頂しました。中には二十分程度で登りきる学生もいました。

山頂ではニセコ連峰や内浦湾の雄大な景色が一望でき、その眺めを楽しんだり、記念撮影する学生や町民で溢れかえっていました。

その後、登山口では主催者によるジンギスカンパーティが開催され、お腹をすかせた学生らが口いっぱいにおおきな姿が見られました。都会では味わえない充実した時間を過ごしていました。

▲▲ 写万岳山開きに420人が参加 ▲▲

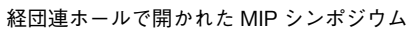


内浦湾をバックに登頂する一行

北海道長万部町にある写万岳の山開き(主催：NPO法人長万部緑と樹を愛する会)が五月十日(土)に行われ、基礎工学部一年生と教職員総勢四百二十余人が参加しました。

長万部町では鯉のぼりが泳ぎだす頃、桜の花も咲き始めます。やっと訪れた春の晴天の中、まず最初に神事が執り行われ、白井長万部町長をはじめとする町関係者の来賓挨拶が終了するに、本学学生から登山を開始しました。

内浦湾をバックに登頂する一行は、最初は白樺の林の中をピクニック気分が進みますが、林が切れ視界が開けた四合目から急斜面となると、普段慣れない山道に足を滑らせたり、時には休憩をとりながら、標高四百九十八・八



シンポジウムに350人が参加

した。続いて第二部では、本学MIP専攻の修了生四人による知財プロジェクト研究の成果発表が行われ、その後、第三部では、馬場錬成・MIP教授がコーデ

「特定研究

平

五月十日（土）、野田校舎講義棟で「東京理科大学特定研究助成金研究成果報告会」が行われ、本学教員や大学院生ら八十一人が聴講しました。

この報告会は平成十九年度の特定研究助成金（二億

約・商標グループ商標担当
課長の佐野純子氏、日本弁
理士会研修所所長の伊藤高
英氏、清華大学の王兵氏の
各パネラーによる講演の
後、馬場教授のコーディネート

最後に、専攻主任の手塚敏廣・MIP教授が、本シンポジウムをまとめて総括し、閉会の挨拶を行い、盛況のうちに終了しました。

人が報告

子助成金対象

方が出席。研究の成果について活発な質疑応答が行われました。また、発表者以外で同助成金を配分された教員によるポスター発表も行われました。

特定研究成果発表者は下のとおり。

平成19年度の本学助成金対象

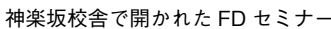
内学長、石田正泰総合科学技術経営研究科長の挨拶に続き、第一部として、荒井寿光氏の基調講演が行われ、知財人材への高まる期待についてお話いただきました。続いて第二部では、本学MIP専攻の修了生四人による知財プロジェクト研究の成果発表が行われ、その後、第三部では、馬場錬成・MIP教授がコーディネート	インターネットを務め、パネルディスカッションが行われました。
第三部のパネルディスカッションでは、文部科学省の井上卓己氏、味の素(株)契約・商標グループ商標担当課長の佐野純子氏、日本弁理士会研修所所長の伊藤高英氏、清華大学の王兵氏の前	パネルによる講演の後、馬場教授のコーディネート
のうちに終了しました。	のうちに終了しました。

研究代表者（所属）	助成金種別	研究課題
上野 一郎（理工・機械）	共同研究	界面熱流体现象を利用したマイクロ・ナノスケール熱物質輸送技術開発を目指して
加藤 圭一（理1・数学）	理大教育助成金A	高等学校高学年および理科大学初学年用数学教材の調査・研究および制作
川村 康文（理1・物理）	理大教育助成金C	授業「講義実験」における教材開発およびその研究
鳥越 秀峰（理1・応化）	自然とともにある特別研究助成金	重金属イオンの新規で簡便な濃度分析方法・除去方法の開発
伊藤 稔（理工・教養）	特色ある教育研究助成金	啓発意識の高い理工系技術者・教員養成のための地域連携型科学技術教育プログラム
田久 修（理工・電情）	奨励研究助成金	Interleaved 周波数分割多元接続における無線通信適用への基礎研究
宮川 宣明（理研・物理）	研究科共同研究	強電子相関系材料の結晶育成及び新規物性探索
小野寺祐夫（薬研・薬学）	研究科共同研究	非意図的に生成する化学物質の生体および環境影響
桑野 潤（工研・工化）	研究科共同研究	非白金電極材料及新規燃料電池の開発
朽津 和幸（理工研・応生）	研究科共同研究	細胞のストレス応答ダイナミクスのバイオイメージング解析
田村 浩二（基工研・生工）	研究科共同研究	総合科学としての細胞研究～細胞の起源から先端医療まで
安部 良（生命研・生命）	研究科共同研究	造血系キメラ誘導による移植臓器長期生着へ向けての研究

——本学教育開発センター主催——

六月七日(土)、神楽坂校舎1号館記念講堂で、本学教育開発センター主催「第一回FDセミナー」が開催されました。「英語教育rel learning」というテーマは、FD活動の根幹をなす授業改善に直結し、すべての学生が英語を学習するという各大学に共通する条件であることから選定されました。また、近年のICT活用による教育の普及と合わせ、アクチュアリーを持つテーマです。

英語教育には常に多くの具体的成果が期待されている半面、英語授業時間数は増加しているわけではありません。しかも多様な学生が大学に入学する時代となり、教員は授業の現場で日々新たな状況に立ち向かわねばならなくなっています。そのような中で、rel Lea



いただき、各大学におけるe-Learningの活用例、問題点、展望等を提示していただきました。さらに本学における取り組みの一端が紹介され、今後の取り組み方について考える場が提供されました。

植木正彬本学教育開発センター長の開会挨拶の後、講演がスタート。谷岡朗・日本大学理工学部一般教育教室教授による「日本大学理工学部e-Learningの始め」の講演では、年度ごとに改善し継続される日本大学理工学部の英語教育の様子が語られました。

岡田圭子・獨協大学経済学部経済学科准教授による「獨協大学の英語教育とe-Learning教材の活用」の講演では、教材開発、カリキュラム開発、成績別クラス編成、教室外学習（φ）

Learning)、アチーブメントテスト (TOEIC) と五本柱から構成される獨協大学のカリキュラムについて講演されました。

奥村直史・山梨大学教育人間科学部国際文化講座准教授による「TOEICの活用や習熟度別クラス分けの功罪」の講演では、国際社会で活躍できる人材の養成、学生の能力に合った授業の提供、自学自習能力の

郊外型の学

山や

本学は、茨城県大子町だいこまちから旧茨城県立大子第二高等学校跡地と施設を無償で借り受け、郊外型の学生研修施設として利用することが決まりました。

神楽坂キャンパスは手狭

山や川：自然豊かな茨城県大子町

養成を目標としてスタートした同大学共通教育新カリキュラムの内容とその成果について講演されました。

川村幸夫・本学理工学部教養教授による「東京理科大学野田校舎における英語e-Learningの現状と課題」の講演では、野田地区で導入している授業の具体的事例に則した問題点を指摘し、さらに独自のアンケート結果に基づいたe-Learning授業の課題と対面授業の意義を協調されて講演を結ばれました。

引き続き、質疑応答・ディスカッションが行われ、具体的な質問から、理工系科目のe-Learning教材、そして同一大学、同一学部・学科内で二極化傾向を見せる学生の学習意欲・学力への対応策まで話が及びました。

セミナー終了後は情報

交換会が開催され、本FDセミナーの目的の一つであるFD and SD (Staff Development = 大学職員資質開発) をキーワードとした分野・職種を超えた幅広い交流が図られました。

*FD活動とは：授業内容と方法の改善に大学が組織として取り組み、教育理念、目標を実現しようとする様々な活動のこと。

て、利用率が低くなっています。

今回借り受ける旧太子第二高校施設には大きな体育館、グラウンド、ゼミ室などの設備があり、本格的な練習を含む課外活動やゼミ合宿に必要な施設が揃っています。また、施設周辺には久慈川や袋田の滝などがあり大変自然の豊かなところ

—テクノルネサンスジャパン—

企業に研究開発してほしい
未来の夢コンテスト応募歓迎

能。リーダーが理工系の学
 生であれば、文系の学生が
 チームに参加可
 ▼応募方法：次のホーム
 ページからエントリー。締
 め切りは八月三十一日まで
 ▼表彰：表彰イベントは
 二〇〇八年十一月下旬。最
 優秀賞三十万円、優秀賞十
 万円、優良賞三万円（各賞
 ともテーマごと）
 ＊テクノルネサンスジャバ
 ンホームページ

▼参加資格：理工系の大学生・大学院生（修士課程まで）の個人またはチーム（五人まで）の参加が可能ですので、興味がある方はぜひ応募してください。

【応募概要】

▼提案方法：パワーポイント十枚以内でアイデアシートを制作、要約の作成

▼参加資格：理工系の大学生・大学院生（修士課程まで）の個人またはチーム



受験生のための2009年版大学案内・第二部案内が完成しました。入手ご希望の方は、入試センターまたは各キャンパス事務室に申し出ていただくか、以下の方法でお申し込みください。

- ① 本学ホームページ
<http://www.tus.ac.jp/admis/shiryout/>
 ② FAX 03-5228-8093 (入試センター)
 ※住所、氏名、電話、高校名と希望するパンフレット名を
 記入のうえお送りください。
 <お問い合わせ 入試センター 03-5228-8092>



<http://nikkei-techno.jp/>

十歳でプラネタリウムで星と出逢って、宇宙へのあこがれをもった。七十七歳。その想いは今も消えない。星一筋、河原さんは人びとに星を語って、なお現役である。

父は新しいもの好きなエンジニアだった。太平洋戦争開戦前年の昭和十五年(一九四〇)、小四の河原さんを父が有楽町にあった東日天文館に連れていってくれた。ドームに入った時、何とも言えぬ不思議な雰囲気魅せられた。浮かぶ星空に、BGM「ツイゴイネルワイゼン」の曲が、神秘へと少年をいざなった。それは人生の決定打となった。

家のある蒲田から省線(今のJR)往復二十銭、入館料二十五銭をもって日曜日、一人プラネタリウムへ。星を見たあと、母が握ってくれたおにぎりを、いつも日比谷公園でほうばった。

夜空の本物の星が見たかった。戦時中である。望遠鏡など買える時世でなかった。神田でレンズとボール紙を購入し、小五の時、五十倍の望遠鏡をつくり、自宅の物干し台で星を観察した。米軍機による空襲が激しくなった。人にはつらい灯火管制は、不思議にも河原さんに夢をくれた。真つ暗な東京の空に、天の川がくつきり見え



★略歴 (かわはら・いくお) 1930年12月東京都大田区生まれ、55年東京理科大学理学部物理学科卒、天文博物館五島プラネタリウムを経て、神奈川県立青少年センターに35年勤務、1997年から川崎市青少年科学館で解説員をつとめる。



プラネタリウム一筋53年
なお現役の星空の解説者

河原 郁夫さん

た。プラネタリウムの星空は嘘でなかった。満天の星が輝いていた。だが空襲警報で敵機をさがすサーチライトが空を駆け巡ると、星は消える。そして終戦の年(一九四五)、家は空襲で焼けた。

理科大では先輩たちと天文部をつくった。現在の読売ランドの近くの寺の一隅を借り、自分たちで小屋を建てて、ハンゴウで飯を炊き、雑魚寝して星を観測した。

恩師の誘いで、就職は五島プラネタリウム。オープン前のドイツ製投影機の取り付けの手伝いから、解説の準備、展示品の設計・監修と、大変だったが、充実の日々だった。河原さんはこのあと、職場を二度変わったが、いつもプラネタリウムがそばにあった。家では晴れた夜は必ず望遠鏡を覗く。プラネタリウムに最近、若者が帰って来てくれたことがうれし

い。カッブルが目立つ。録音解説が一般的だが、河原さんは話術巧みに、肉声で宇宙へと入場者を誘う。自分の声を必ずテープに取り、聞き直し、反省点を次に生かす。

「プラネタリウムが人間社会に役立って、殺伐としたこの世の中で、豊かな気持ちをもってもらえればうれしい」――夢請負人・河原さんの、それが願いである。

歌舞伎座で鑑賞教室
二村基金事業セミナー



本学では毎年、学生を対二十日(昼の部)と二十三日(夜の部)に歌舞伎座「二村基金事業セミナー」を開催しています(東京都中央区)で「歌舞」す。この一環として、五月

た鑑賞教室が開かれました。写真見は受付風景。

昼の部では「義経千本桜」他二本が、夜の部では「青砥稿花紅彩画(白浪五人男)」と「三升猿曲舞」が公演され、昼夜あわせて百十人の学生が参加しました。初参加の学生がほとんどでしたが、歌舞伎の優美な雰囲気や演者の表情の豊かさや迫力に触れ「格調高い伝統芸能を身近で鑑賞することができて感激」など

は、女子中高生の皆さんに理系を理解してもらう機会を設け「女性ならではの科学」を武器として、強いプロ意識のもとに新たな科学技術を生み出す人材の育成を目指すための事業です。

Wendy A. Spinks(長万部サマースクール)は、女子高校生四十八人を対象に、三泊四日の寮生活

を本学女子学生と共に過ごすなかで、様々な実験、フィールドワークを体験する「講義シリーズ」を春の「女子中高生の理系進路選択支援事業」に採択された企画は、八月八日(金)から十一日(月)にかけて、長万部サマースクールで実施する「真夏のマドンナたち」

「秋のマドンナ」は、女子中高生の皆さんに理系を理解してもらう機会を設け「女性ならではの科学」を武器として、強いプロ意識のもとに新たな科学技術を生み出す人材の育成を目指すための事業です。

Wendy A. Spinks(長万部サマースクール)は、女子高校生四十八人を対象に、三泊四日の寮生活

を本学女子学生と共に過ごすなかで、様々な実験、フィールドワークを体験する「講義シリーズ」を春の「女子中高生の理系進路選択支援事業」に採択された企画は、八月八日(金)から十一日(月)にかけて、長万部サマースクールで実施する「真夏のマドンナたち」



科学のマドンナ・プロジェクトのロゴマーク

ビジネスユニット長に、自身の経験を踏まえながら、理系分野の魅力と女子中高生の皆さんが将来の進路を決めるためにどのような「Science」を知ると共に、将来のキャリアパスを考える「Profile」を併せて十一月に各キャン

本学では、女子中高生の皆さんが将来の進路を考えるときの参考になるように、平成十八年度から「ウーマンサイエンティスト体験講座」を実施してきました。そこでは理系の職業に進んだ方の講演会や女子大生との交流会などを通じて、多くの女子中高生から「理系についてもっと知りたい」「イベントに参加したい」という声をいただくことができました。

対象に、三泊四日の寮生活を本学女子学生と共に過ごすなかで、様々な実験、フィールドワークを体験する「講義シリーズ」を春の「女子中高生の理系進路選択支援事業」に採択された企画は、八月八日(金)から十一日(月)にかけて、長万部サマースクールで実施する「真夏のマドンナたち」

「秋のマドンナ」は、女子中高生の皆さんに理系を理解してもらう機会を設け「女性ならではの科学」を武器として、強いプロ意識のもとに新たな科学技術を生み出す人材の育成を目指すための事業です。

Wendy A. Spinks(長万部サマースクール)は、女子高校生四十八人を対象に、三泊四日の寮生活

を本学女子学生と共に過ごすなかで、様々な実験、フィールドワークを体験する「講義シリーズ」を春の「女子中高生の理系進路選択支援事業」に採択された企画は、八月八日(金)から十一日(月)にかけて、長万部サマースクールで実施する「真夏のマドンナたち」

文部科学省
事業に採択

「科学のマドンナ」プロジェクト

今夏・秋 相次ぎ魅力のある催し

本学では、女子中高生の皆さんが将来の進路を考えるときの参考になるように、平成十八年度から「ウーマンサイエンティスト体験講座」を実施してきました。そこでは理系の職業に進んだ方の講演会や女子大生との交流会などを通じて、多くの女子中高生から「理系についてもっと知りたい」「イベントに参加したい」という声をいただくことができました。

東京理科大学学生の各種論文・研究発表等の受賞 一覧

(平20・3月~6月)

受賞者(所属・学年は受賞時)	受賞名	大会・学会名	受賞テーマ等	受賞日
石津 健一	理工・機械・4年	Best Presentation Award	日本機械学会関東支部主催・関東学生会第47回学生員卒業研究発表講演会	3月14日
柏木 友秀	経営・経営・2年	入賞	第8回「日経STOCK」リーグ	3月15日
小原 尚子	〃			
下 正喜	〃			
新國みづき	〃			
宮川 和夫	〃・3年			
石井 徹	理工研・電気・修1	優秀ポスター賞	電子情報通信学会2008年総合大会	3月18日
上田 将吾	工研・建築・修1	若手優秀研究報告賞	日本建築学会・2007年度関東支部研究発表会	3月25日
寺川 喬	理工研・建築・修2	若手優秀研究報告賞	日本建築学会・2007年度関東支部研究発表会	3月25日
沖 剛	工研・工化・修1	優秀ポスター賞	㈲日本鉄鋼協会・第155回春季講演大会	3月27日
井上苗土己	基礎工研・電子・修2	「部会ロゴマーク作成」に係る感謝状を授与	日本原子力学会・計算科学技術部会	3月28日
植木健一郎	理工・工化・4年	学生ポスター優秀賞	電気化学会・第75回大会	3月30日
新部裕佳子	理1・応化・4年	優秀ポスター発表賞	第101回触媒討論会(創立50周年記念大会)	4月
伊藤 貴彦	工研・工化・博1	若手講演賞	第55回有機合成化学協会関東支部シンポジウム	5月10日
渡邊 博之	理研・化学・修1	若手講演賞	第55回有機合成化学協会関東支部シンポジウム	5月10日
牧野 剛士	理研・化学・博3	若手講演賞	第55回有機合成化学協会関東支部シンポジウム	5月10日
内藤 陽子	理研・化学・修2	若手優秀発表賞	日本ゴム協会80周年記念年次大会	5月21日
和知 恭平	理工研・機械・修2	日本設計工学会平成19年度秋季大会学生優秀発表賞	日本設計工学会春季大会	5月23日
柿元 彩七	薬研・薬学・修2	RADIOISOTOPES誌論文奨励賞	日本アイソトープ協会	5月28日
秦 寛夫	理研・化学・修1	ポスター賞	第24回化学反応討論会	6月3日
兵野 篤	薬研・薬学・博3	ポスター賞	Interfaces Against Pollution (IAP) 2008	6月3日

バスで実施する「サイエンス夢工房」などにおいても女子中高生が理系への興味を持つようなブースを設ける予定です。

本プロジェクトの詳細は「科学のマドンナ」プロジェクトHP(<http://www.wtusa.jp/madonna/>)をご覧ください。

【意見・感想をお待ちしています！】
〒162-8601 新宿区神楽坂3-3 東京理科大学 広報課
【FAX】03-3260-5823 【E-mail】koho@admin.tus.ac.jp